

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成26年1月30日(2014.1.30)

【公開番号】特開2013-100373(P2013-100373A)

【公開日】平成25年5月23日(2013.5.23)

【年通号数】公開・登録公報2013-026

【出願番号】特願2013-41947(P2013-41947)

【国際特許分類】

A 6 1 K 47/38 (2006.01)

A 6 1 K 47/44 (2006.01)

A 6 1 K 47/34 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 K 47/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 47/38

A 6 1 K 47/44

A 6 1 K 47/34

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 47/10

【手続補正書】

【提出日】平成25年12月4日(2013.12.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

a) セルロース系粘稠化剤、

b) 非イオン性界面活性剤、および

c) ダイズ油、ツバキ油、または綿実油から選ばれる少なくとも1種の植物油を含有する粘膜適用組成物。

【請求項2】

20℃での粘度が2 mPa・s以上10万mPa・s以下である請求項1に記載の粘膜適用組成物。

【請求項3】

セルロース系粘稠化剤が、メチルセルロース、ヒドロキシエチルセルロース、ヒドロキシプロピルメチルセルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、カルボキシメチルセルロースまたはこれらの塩から選ばれる少なくとも1種である請求項1または2のいずれかに記載の粘膜適用組成物。

【請求項4】

非イオン性界面活性剤が、ポリオキシエチレンーポリオキシプロピレンブロックコポリマー、ポリオキシエチレンソルビタン脂肪酸エステル類またはポリオキシエチレン硬化ヒマシ油類から選択される非イオン性界面活性剤である請求項1乃至3のいずれかに記載の粘膜適用組成物。

【請求項5】

点眼剤、洗眼剤、コンタクトレンズ装着液、点鼻剤である請求項1乃至4のいずれかに記載の粘膜適用組成物。

【請求項 6】

pHが4.0～10.0である請求項1乃至5のいずれかに記載の粘膜適用組成物。

【請求項 7】

さらに、メントール、カンフル又はボルネオールから選択される1種又は2種以上の化合物を含有する請求項1乃至6のいずれかに記載の粘膜適用組成物。

【請求項 8】

セルロース系粘稠化剤及び非イオン性界面活性剤とともに、ダイズ油、ツバキ油または綿実油から選ばれる少なくとも1種の植物油を配合することにより組成物の粘度を安定化する方法。

【請求項 9】

セルロース系粘稠化剤及び非イオン性界面活性剤とともに、ダイズ油、ツバキ油または綿実油から選ばれる少なくとも1種の植物油を配合することにより組成物の使用感を改善する方法。